Europe Indicators

発表日:2021 年 2 月 22 日(月)

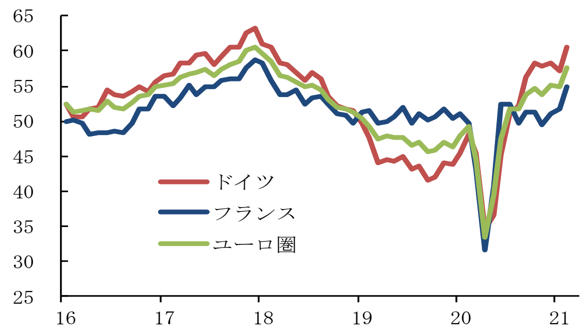
欧州経済指標コメント:２月ユーロ圏PMI速報

～昨年春とは違う～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理(TEL:03-5221-4527)

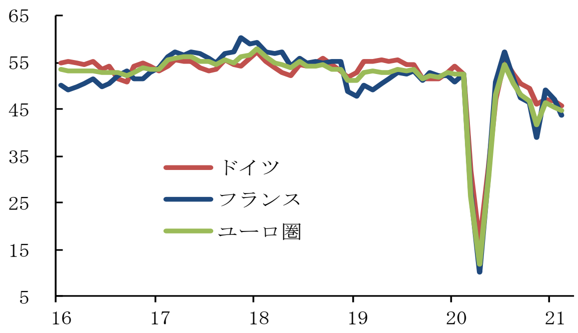
- 19日に発表された２月のユーロ圏総合ＰＭＩの速報値は48.1と前月の47.8から小幅改善したが、昨年秋に多くの国が行動制限を再強化して以降、４ヵ月連続で好不況の分岐点である50割れ。総合ＰＭＩを構成する２項目の内訳は、製造業の産出指数（製造業ＰＭＩの構成項目の１つ）が、米中景気の回復に支えられ、前月：54.8→今月：57.5と改善が加速。サービス業活動指数（サービス業ＰＭＩ）は都市封鎖の強化・延長を反映し、45.4→44.7にやや低下（悪化モメンタムが加速）。速報段階で入手可能な国別・業種別の内訳は、ドイツ・フランスともにユーロ圏同様に、製造業の改善モメンタムが加速した一方、サービス業の業況悪化が全体の足を引っ張る構図。
- ユーロ圏の製造業ＰＭＩ（54.8→57.7）を構成する５項目の内訳は、産出（54.6→57.5）、新規受注（54.7→57.8）、雇用（49.4→50.9）、中間財在庫（46.2→46.9）、入荷遅延（31.6→25.6、逆数が構成項目のため、低下すると改善）が揃って前月から上向いた。ヘッドラインの製造業ＰＭＩは2018年２月以来の水準に復帰。製造業の雇用判断が2019年４月以来となる50超に復帰したのに対して、サービス業の雇用判断（49.8→49.1）が反落し、50手前で足踏みが続いている。
- 今月の計数は１～３月期のユーロ圏が再びマイナス成長となったことを示唆。ただ、昨年10-12月期と同様に、感染予防と経済活動の両立がある程度可能になったことに加えて、堅調な製造業活動が支えとなり、第一波と比べて景気の落ち込みは限定的。

■ユーロ圏：製造業ＰＭＩ



出所：IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業ＰＭＩ



出所：IHS Markit

■購買担当者指数（ＰＭＩ、季節調整済み）

		2020 1Q	2Q	3Q	4Q	2020 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021 1月	2月
ユーロ圏	総合産出指数	44.2	31.3	52.4	48.1	31.9	48.5	54.9	51.9	50.4	50.0	45.3	49.1	47.8	48.1
	製造業購買担当者指数	47.2	40.1	52.4	54.6	39.4	47.4	51.8	51.7	53.7	54.8	53.8	55.2	54.8	57.7
	サービス業業況指数	43.9	30.3	51.1	45.0	30.5	48.3	54.7	50.5	48.0	46.9	41.7	46.4	45.4	44.7
ドイツ	総合産出指数	45.6	32.3	54.8	52.9	32.3	47.0	55.3	54.4	54.7	55.0	51.7	52.0	50.8	51.3
	製造業購買担当者指数	46.2	38.8	53.2	58.1	36.6	45.2	51.0	52.2	56.4	58.2	57.8	58.3	57.1	60.6
	サービス業業況指数	46.1	32.0	52.9	47.5	32.6	47.3	55.6	52.5	50.6	49.5	46.0	47.0	46.7	45.9
フランス	総合産出指数	44.0	31.6	52.5	45.9	32.1	51.7	57.3	51.6	48.5	47.5	40.6	49.5	47.7	45.2
	製造業購買担当者指数	48.0	41.5	51.1	50.7	40.6	52.3	52.4	49.8	51.2	51.3	49.6	51.1	51.6	55.0
	サービス業業況指数	43.6	30.7	52.1	44.8	31.1	50.7	57.3	51.5	47.5	46.5	38.8	49.1	47.3	43.6

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。